

身体障害者診断書・意見書（呼吸器機能障害用）

総括表

氏名	大正 昭和 平成 令和	年 月 日生	男 ・ 女
住所			
障害名（部位を明記すること。）			
原因となった 疾病・外傷名		交通・労災・その他の事故・戦傷・戦災・ 自然災害・疾病・先天性・その他（ ）	
疾病・外傷発生日	昭和 平成 令和	年 月 日	場所
参考となる経過・現症（エックス線写真及び検査所見を含む。）			
		障害固定又は障害確定（推定）	昭和 平成 令和
		年 月 日	
総合所見			
〔将来再認定 要（ ）年後 ・ 不要〕			
その他参考となる合併症状			
上記のとおり診断する。併せて次の意見を付す。			
令和 年 月 日			
病院又は診療所の名称			
所 在 地			
診療担当科名		科 医師氏名	
Ⓔ			
身体障害者福祉法第15条第3項の意見（障害程度等級についても参考意見を記入すること。）			
障害の程度は、身体障害者福祉法別表に掲げる障害に			
・該当する（ 級相当）			
・該当しない			
（注意）1 障害名には、現在起っている障害、例えば両眼視力障害、両耳ろう、右上下肢麻痺、 心臓機能障害等を記入し、原因となった疾病には、緑内障、先天性難聴、脳卒中、僧帽 弁膜狭窄等原因となった疾患名を記入してください。			
2 障害区分や等級決定のため、地方社会福祉審議会から改めて次ページ以降の部分につ いてお問い合わせする場合があります。			

呼吸器の機能障害の状況及び所見

(該当するものを○で囲むこと。)

1 身体計測

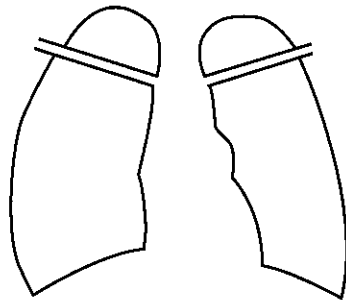
身長 cm 体重 kg

2 活動能力の程度

- ア 激しい運動をした時だけ息切れがある。
イ 平坦な道を早足で歩く、あるいは緩やかな上り坂を歩く時に息切れがある。
ウ 息切れがあるので、同年代の人より平坦な道を歩くのが遅い、あるいは平坦な道を自分のペースで歩いている時、息切れのために立ち止まることがある。
エ 平坦な道を約100m、あるいは数分歩くと息切れのために立ち止まる。
オ 息切れがひどく家から出られない、あるいは衣服の着替えをする時にも息切れがある。

3 胸部エックス線写真所見 (年 月 日)

- ア 胸 膜 癒 着 (無・軽度・中等度・高度)
イ 気 腫 化 (無・軽度・中等度・高度)
ウ 線 維 化 (無・軽度・中等度・高度)
エ 不 透 明 肺 (無・軽度・中等度・高度)
オ 胸 郭 変 形 (無・軽度・中等度・高度)
カ 心・縦隔の変形 (無・軽度・中等度・高度)



4 換気機能 (年 月 日)

- ア 予測肺活量 □・□□ L (実測肺活量 □・□□ L)
イ 1 秒 量 □・□□ L (実測努力肺活量 □・□□ L)
ウ 予測肺活量1秒率 □□・□ % ($= \frac{イ}{ア} \times 100$)

(アについては、次の予測式を使用して算出すること。)

